

第3章 計画の目標

第3章 計画の目標

第1節 基本理念

近年、高齢化、情報化、国際化の進展により生活を取りまく環境は大きく変化しつつあり、生活様式が多様化する中で人々は快適な暮らしを求めている。延岡市では、第5次延岡市長期総合計画の中で、豊かな自然と安全で快適な暮らしを守る環境づくりを基本目標に掲げている。

また、本市の河川は治水・利水の役割を担うだけでなく、川遊びや魚釣り等、市民に親しまれ利用されるとともに、「清流と鮎」を目玉とした重要な観光資源としても大きな役割を担っている。

本市における生活排水処理率は、平成25年度末現在84.2%であり、これらの地域では、水質汚濁の要因である生活排水は、公共下水道、集合型合併処理浄化槽（農・漁業集落排水）、合併処理浄化槽などで処理されているものの、未整備の家庭からの排水については、未処理のまま公共用水域に排出されている状況である。

このため、河川への影響や、一部の地域においては農業用水路に排出された生活排水による汚濁も無視できない状況である。

したがって、本市にとっては水路や河川の水質を保全することが重要な課題であり、生活排水の処理の施設整備を図ることや生活排水に係る啓発などを積極的に推進することが急務となっている。

第2節 計画の目標設定

本市の本計画に係る目標は、流域単位に設定し、都市計画等、下水道計画等の整合を図りつつ財政状況、処理施設の耐用年数等を検討の上、目標及び目標年次を定め、生活排水対策の推進により流域単位に目標を達成することを重点において、目標が全体として平成52年度までに達成されるよう努めることとする。

また、流域ごとの目標等は、次の取り組み及び背景等をもって定めるものとする。

1 北川流域に係る目標水質及び目標年次等

目 標 水 質	「子どもたちが水と親しむ水辺環境づくり」	
目 標 年 次	平成52年度	
背 景	<p>北川は、四国の清流四万十川と同様に、河口部に稀少な魚類であるアカメも生息する清流として知られ、また上流では、初夏に蛍の乱舞が見られ、蛍祭りが行われる清流である。</p> <p>しかし、最近では、生活排水や林地の管理放棄等による水質の悪化も心配されている。このため、河川の汚濁が進行しないように「清流」を守り、いつまでも住民が安心して利用できる川として守っていくことが必要である。</p>	
生活排水対策	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）の整備 ・ 合併処理浄化槽への転換促進
	啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）、農業集落排水へのつなぎ込み促進 ・ 洗剤等の適切な使用・台所対策の普及 ・ 河川周辺のクリーン作戦 ・ 自然観察会 ・ 水質調査、水辺環境調査の実施 ・ その他の対策、キャンペーンの実施
備 考		

2 祝子川流域に係る目標水質及び目標年次等

目 標 水 質	「広く市民が親しめる川をめざして」	
目 標 年 次	平成52年度	
背 景	<p>祝子川は、五ヶ瀬川水系河川の中でも、上流部の人口が少ないこともあって、川底の石や泳ぐ魚群などが見える澄んだ川として知られてきた。</p> <p>夏になると、多くの家族連れがキャンプや水遊びなどに訪れ、また、自然の残る清流は児童たちが水生生物調査を行うなど野外学習の格好の場所ともなっている。</p> <p>しかし、中流部から下流部にかけての宅地開発による生活排水及び工場排水の影響等で下流域においてBODの環境基準が守れていなかった。</p> <p>しかし、その後の公共下水道の整備及び工場排水の改善等により基準が達成されるようになったが、さらに昔の澄んだ川を目指して取り組んでいく必要がある。</p>	
生活排水対策	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の整備 ・ 合併処理浄化槽への転換促進
	啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）、農業集落排水へのつなぎ込み促進 ・ 洗剤等の適切な使用・台所対策の普及 ・ 河川周辺のクリーン作戦 ・ 水質調査、水辺環境調査の実施 ・ その他の対策、キャンペーンの実施
備 考		

3 五ヶ瀬川流域に係る目標水質及び目標年次等

目 標 水 質	「清流「五ヶ瀬川」とのふれあいの場創出」	
目 標 年 次	平成52年度	
背 景	<p>五ヶ瀬川流域は、昭和30年代頃までは、ホテルの舞う風景があちこちで見られていたが、現在ではこの様な風景もあまり見られなくなり、生活排水による水質汚濁が懸念されるようになってきている。</p> <p>本河川は、全国的に鮎の泳ぐ川として知られ、秋の風物詩となっている鮎やなでの鮎を焼く香りは、平成13年度に環境省の「かおり風景百選」に選ばれている。</p> <p>そのため、鮎の銀鱗がいつまでも見られ、子供たちが川で戯れるような良好な水質と自然環境を維持していく必要がある。</p>	
生活排水対策	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）の整備 ・ 合併処理浄化槽への転換促進
	啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）、農業集落排水へのつなぎ込み促進 ・ 洗剤等の適切な使用・台所対策の普及 ・ 河川周辺のクリーン作戦 ・ 水質調査、水辺環境調査の実施 ・ 流域市町村で浄化対策の協議会等の設置と推進 ・ 河川浄化を目的とした各種イベントの開催 ・ その他の対策、キャンペーンの実施
備 考		

4 浜川流域に係る目標水質及び目標年次等

目 標 水 質	「市民の憩いの場となる水辺環境をめざして」	
目 標 年 次	平成52年度	
背 景	<p>昭和30年代、浜川は、工場排水の影響で魚も住めないへドロの堆積した川であったが、昭和40年代以降へドロの浚渫や企業努力等により次第に水質が改善され、平成に入ってからBODの環境基準も達成されている。</p> <p>また、河川沿いには緑道公園が整備され、その並木道は市民のよき散歩コースともなっている。</p> <p>最近魚も少しは見られるようになってきたが、さらに多種多様な生物が棲み、市民の憩いの場となるような水辺環境をめざしていきたい。</p>	
生活排水対策	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の整備 ・ 合併処理浄化槽への転換促進
	啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道へのつなぎ込み促進 ・ 工場、事業場からの排水浄化対策の推進 ・ 洗剤等の適切な使用・台所対策の普及 ・ 河川周辺のクリーン作戦 ・ 水質調査、水辺環境調査の実施 ・ その他の対策、キャンペーンの実施
備 考		

5 沖田川流域に係る目標水質及び目標年次等

目 標 水 質	「やすらぎとゆとりある水辺環境づくり」	
目 標 年 次	平成52年度	
背 景	<p>市の南部を流れる沖田川は、河口付近で浜川と合流し、潮の干満により下流域は浜川の影響を受ける。毎年、初夏には、黄色いハマボウの花が咲き、観察会も行われている。</p> <p>しかし、中流域では、生活排水等による水質の悪化も見られ、主にフナやボラといった限られた魚の姿しか見られなくなっている。</p> <p>このようなことから、生物相が豊かで水遊びや水泳のできるきれいな川を目標とし、生活排水等による水質の汚濁を防止することが必要である。</p>	
生活排水対策	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の整備 ・ 合併処理浄化槽への転換促進
	啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）へのつなぎ込み促進 ・ 洗剤等の適切な使用・台所対策の普及 ・ 河川周辺のクリーン作戦 ・ ハマボウの植樹、観察会等の実施 ・ 水質調査、水辺環境調査の実施 ・ その他の対策、キャンペーンの実施
備 考		

6 北浦沿岸水域に係る目標水質及び目標年次等

目 標 水 質	「さらに青く澄んだ海へ」	
目 標 年 次	平成52年度	
背 景	<p>北浦町の海岸部は、日豊海岸国定公園に指定されたリアス式の美しい景観が見られる。昭和45年頃までは、海水浴ができる海岸が多く存在し、アサリ等も生息していたが、護岸の整備、生活雑排水等による水質の汚濁が進んだ。その後、公共下水道などの生活排水処理施設の整備により改善され、九州で唯一の「快水浴場百選 海の部特選」の栄誉に輝いている。藻場の保護・再生なども行われ、良質な海と戻りつつあり、このかけがえのない自然を後世に引き継ぐことが必要である。</p>	
生活排水対策	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併処理浄化槽への転換促進
	啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（特環含む）、農業集落排水、漁業集落排水へのつなぎこみ促進 ・ 洗剤等の適切な使用・台所対策の普及 ・ 海岸周辺のクリーン作戦 ・ 水質調査、水辺環境調査の実施 ・ その他の対策、キャンペーンの実施
備 考		

